

製品名: AASS ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06382**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	102kDa

抗原情報

遺伝子名	AASS
別名	AASS; Alpha-aminoadipic semialdehyde synthase; mitochondrial; LKR/SDH
遺伝子 ID	10157.0
SwissProt ID	Q9UDR5
免疫原	抗血清はヒト AASS 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 251-300

背景

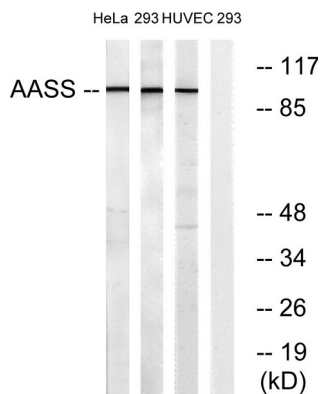
この遺伝子は、哺乳類のリジン分解経路の最初の 2 段階を触媒する二機能性酵素をコードしています。この酵素の N 末端領域と C 末端領域には、それぞれリジン-ケトグルタル酸還元酵素活性とサッカロピン脱水素酵素活性が含まれており、リジンを α -アミノアジピ

ン酸セミアルデヒドに変換します。この遺伝子の変異は、家族性高リジン血症と関連しています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: N(6)-(L-1,3-ジカルボキシプロピル)-L-リジン + NAD(+) + H(2)O = L-グルタミン酸 + 2-アミノアジピン酸 6-セミアルデヒド + NADH.,触媒活性: N(6)-(L-1,3-ジカルボキシプロピル)-L-リジン + NADP(+) + H(2)O = L-リジン + 2-オキソグルタル酸 + NADPH.,疾患: AASS の欠陥が高リジン血症の原因である[MIM:238700]。高リジン血症は、高リジン血症性リジン尿症および変動性サッカロピン尿症を特徴とする常染色体劣性疾患である。 ,機能: リジン分解における最初の 2 つのステップを触媒する二機能性酵素。 N 末端と C 末端には、それぞれリジン ケトグルタル酸還元酵素とサッカロピン脱水素酵素活性が含まれています。 ,誘導:飢餓によって誘導されます。 ,経路:アミノ酸分解; サッカロピン経路を介した L-リジンの分解; L-リジンからのグルタリル CoA: ステップ 1/6。 ,経路:アミノ酸分解; サッカロピン経路を介した L-リジンの分解; L-リジンからのグルタリル CoA: ステップ 2/6。 ,類似性:C 末端セクションに存在; サッカロピン脱水素酵素ファミリーに属します。 ,類似性:N 末端セクションに存在; AlaDH/PNT ファミリーに属します。 ,サブユニット:ホモ二量体。 ,組織特異性:調べた 16 の組織すべてで発現し、肝臓で最も高く発現しています。 ,

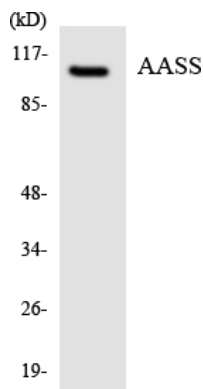
研究分野

リジン生合成;リジン分解;

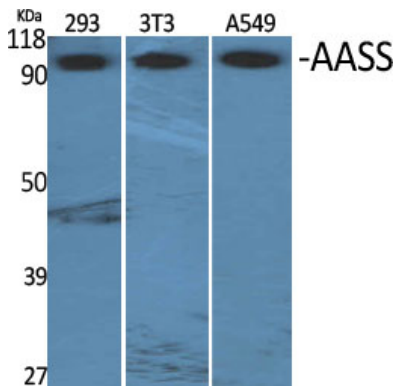
画像データ



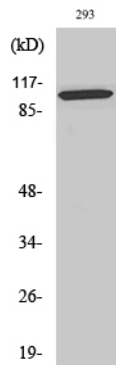
AASS 抗体を用いた 293 細胞、HUVEC 細胞、および HeLa 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



AASS 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



AASS ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



AASS ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析